

「みちびき」災害・危機管理通報を活用した被災対応FMラジオ放送システムの実証

山口放送株式会社・日本通信機株式会社

国立大学法人山口大学・地方独立行政法人山口県産業技術センター

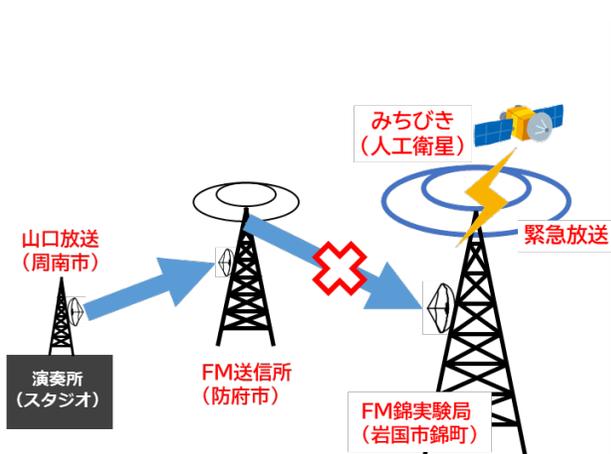
○ラジオ放送は、ラジオ受信機で容易にかつ、気軽に音声情報を得ることが可能なメディアとして利用され、災害時でも情報伝達の手段としての利便性に優れている。しかしながら、ラジオ放送ネットワークが被災による途絶した場合は、放送を継続することができない。

○そのため、FMラジオ放送ネットワークの一部が途絶した場合でも、みちびきの災害・危機管理通報サービスを活用して、自動放送により災危情報を途切れなく提供できる「被災対応FMラジオ放送システム」が必要となる。

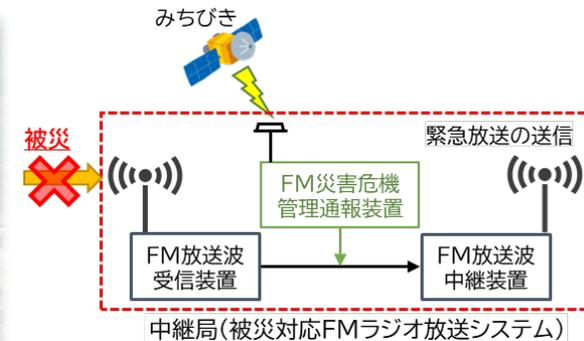
○本実証では、現状のFMラジオ放送システムを被災対応にするための「FM災害危機管理通報装置」を開発し、山口放送(株)が保有する錦FM実験局(山口県岩国市)に設置し、放送ネットワークが遮断した想定で、みちびきから配信される災危情報を受信し、あらかじめ録音していた音声でFMラジオで緊急放送を行う公開実験を実施した。

○実験では、実際に放送を遮断して、「みちびき」からの配信を受信し、緊急放送を送信することができた。また、その放送を行政機関や地域住民も参加して試聴した。(実際の緊急避難所で試聴)

○今後は、放送に関する技術基準への採用を目指して、技術的な検証を行いながら、関係機関への広報を実施していく。



公開実験(錦ふるさとセンター)



開発した被災対応FMラジオ放送システム

大規模災害によりFMラジオ放送ネットワークの一部が被災した場合でも、人工衛星「みちびき」から受信した災害・危機管理情報の放送を可能にするシステム